

背景

精神疾患に関する理解の深化(普及啓発)に関する方向性について(概念図)

国民の理解の深化(普及啓発)の現状

- 精神保健医療福祉の改革ビジョンの目標(誰もがかかりうることへの理解)には一定の進捗が見られる
- 統合失調症に対する理解が大きく遅れている

今後の基本的方向性: 精神疾患の早期発見・早期対応による重症化の防止

- 国民一般を対象とする啓発から、ターゲットを明確にした普及啓発が必要である
- 学齢期等の若者とそれを取り巻く者を重要なターゲットとして位置付ける
- 統合失調症に関する理解の進展を目標として重点的に普及啓発を行う

平成20年度精神障害の正しい理解のための普及啓発事業

- ① 早期発見・対応に影響を与える要因の特定に関する調査
- ② 普及啓発のターゲット毎に最適なメディアミックス及びコンテンツに関する調査
- ③ 精神疾患の報道状況に関する調査 (第16回検討会において報告)

精神疾患に関する理解の深化(普及啓発)のための具体的方法の検討